

【ビデオ起動ツール「再生くん」マニュアル補足資料】

「LimeChat」を利用してリアルタイムでインデックスを作る方法 (Windows 版)

～「再生くん」マニュアルと併せてご利用下さい～

2014 年 6 月 19 日

文責：高悠史

この資料はビデオ起動ツール「再生くん」マニュアルの補足資料です。

本編で紹介したように、「再生くん」は時間情報が入った Microsoft Excel ファイルがあれば、それをビデオ再生のインデックスとして利用して、その時間情報の位置からビデオを再生できるという機能を備えています。

この補足資料では、ワークショップやミーティングなどの現場を念頭に、ビデオ再生用インデックスを活動の最中にリアルタイムに作りたい場合の工夫として、IRC チャットを使う方法を紹介します。この方法は、活動の最中に気づいたことや記録したいことを「コメント」としてチャットに投稿するだけで、時間情報が自動的に付与されて記録されるので、インデックス作成を効率良く行うことができます。また複数人で共有しながら、協力してインデックス作成を行うことにも利用でき、結果を集約するのも簡単です。

以下では Windows 用のフリーの IRC チャットクライアント「LimeChat」(<http://limechat.net/>)を例に説明します。「LimeChat」には Windows 版、Mac 版の他に iPhone/iPad 版などもあります (iPhone/iPad 版は有料)。Mac 版についてもマニュアルを用意しておりますので、Mac ユーザの方はそちらをご覧ください。

※ 複数人でチャットを行う場合、以下の設定の一部（特に 1. や 5. など）は最低限 1 人だけが行えばよく、他の人は省略できるように思われるかもしれませんが、しかし予期せぬエラーや設定ミスによるリスクを回避するため、少なくとも 1. から 5. までは全て、**原則として全員が設定をしておくことを推奨します。**

※ ビデオ撮影の際には、撮影開始時刻をなるべく正確に記録しておくのを忘れないようにしましょう（6. 参照）。ビデオカメラによっては撮影したビデオファイル名に、撮影開始年月日と時刻が自動で付与されるものもあり便利です。ただし、このファイル名の時刻はビデオカメラの時計が正確に設定されていないと意味がありませんのでご注意ください。

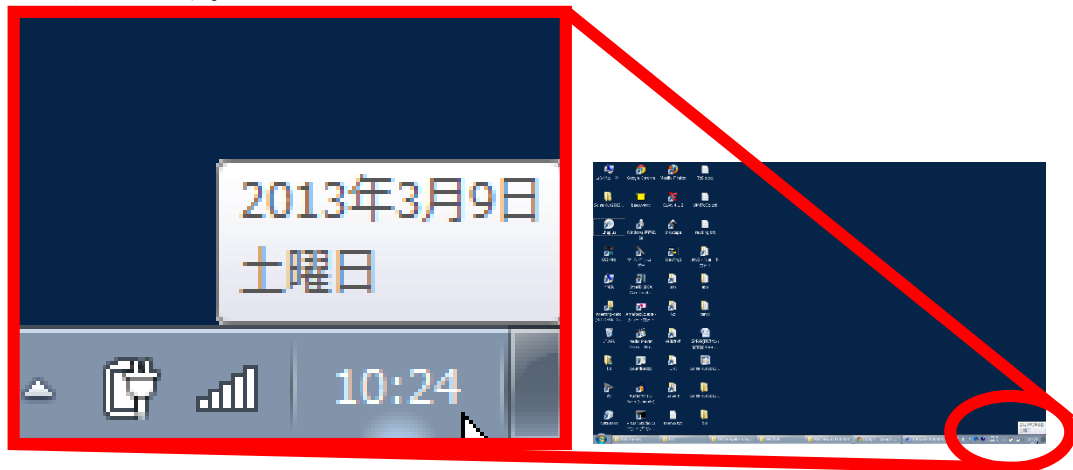
目次

1. PC の時計を合わせる	3
2. 「LimeChat」のインストール	6
3. 「LimeChat」の起動	8
4. 接続設定	10
4-1. IRC サーバへの接続設定	10
4-2. チャンネルを追加する	14
4-3. チャットを開始する（チャンネルに入る）	15
5. チャットのログをファイルに保存する	20
6. 時刻情報をビデオ内の時間情報に変換する	25
6-1. 作業の概要	25
6-2. 詳細な手順	26
7. Excel ファイルを作る時の工夫・コツ	31

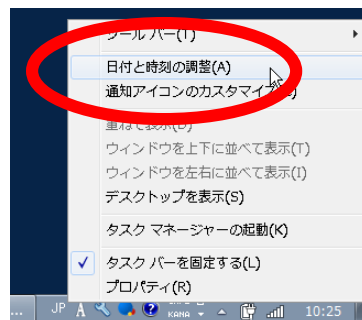
1. PC の時計を合わせる

まずお使いの PC の時計を正しく合わせておく必要があります。

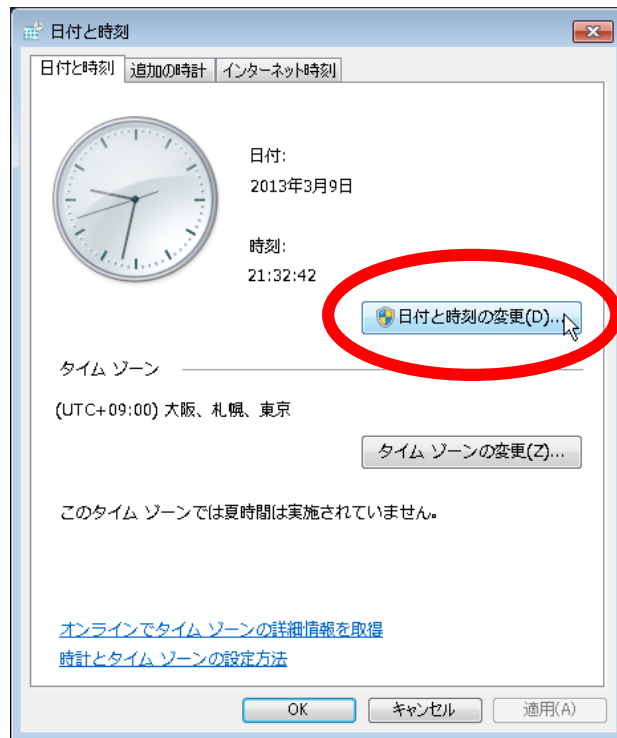
- ① デスクトップ画面右下の時計の表示を確認し、時刻が間違っていたら、右クリックします。



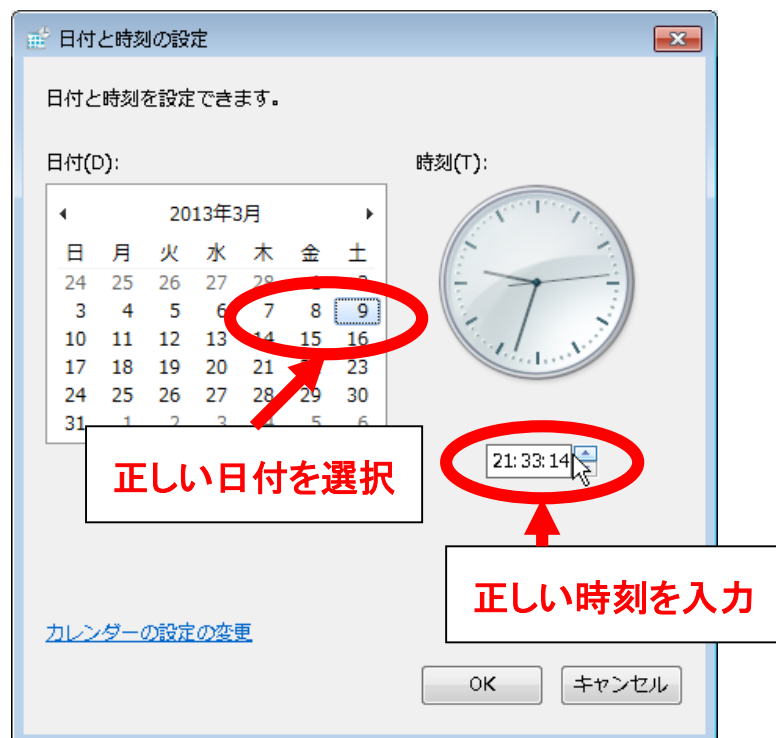
- ② 表示されるメニューから「日付と時刻の調整」をクリックします。



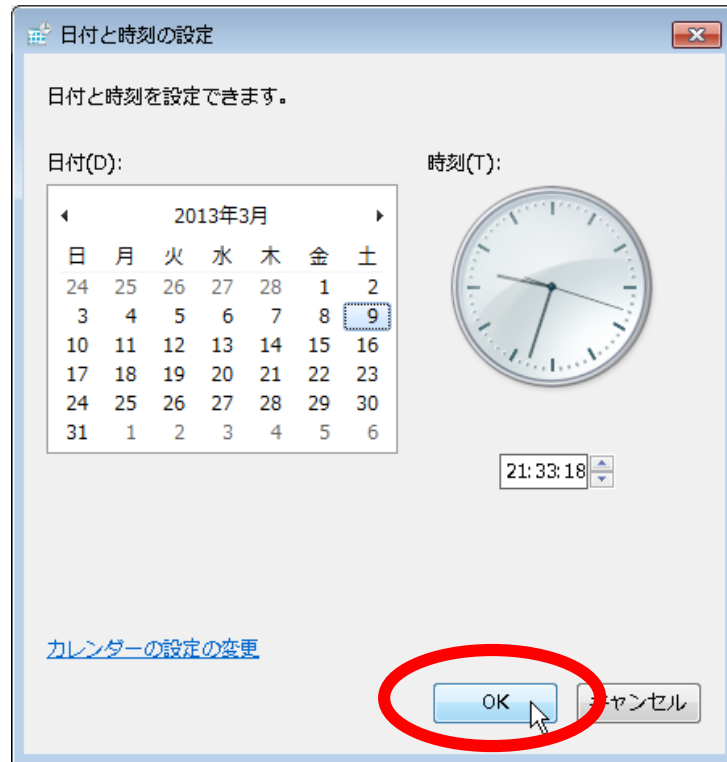
- ③ 「日付と時刻」 ウィンドウで、「日付と時刻の変更」 ボタンをクリックします。



- ④ 「日付と時刻の設定」 ウィンドウで、日付と時刻を正しく設定します。



- ⑤ 「OK」 ボタンをクリックします。



- ⑥ 「日付と時刻」 ウィンドウで、「OK」 ボタンをクリックします。

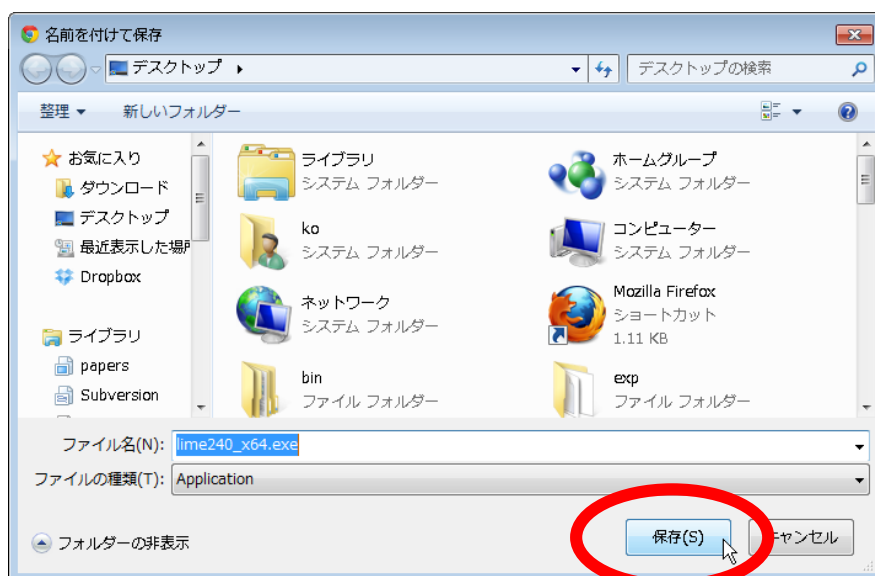


2. 「LimeChat」のインストール

- ① <http://limechat.net/>にアクセスし、「最新版をダウンロード」欄の「LimeChat x.xx」もしくは「LimeChat x.xx 64bit 版」のどちらかをクリックします（x.xxの部分には 2.40 などの数字が入っています）。お使いの Windows が 32bit 版の場合は前者を、64bit 版ならば前者を選びます。分からない場合は前者を選んでおいて問題ありません。



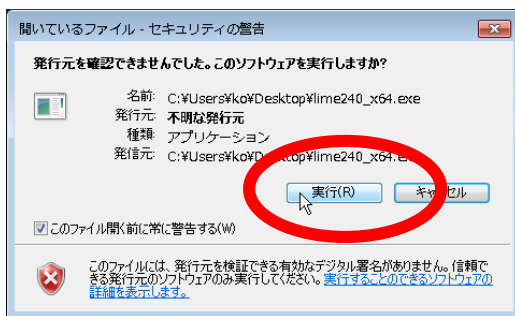
- ② PC 内の適当な場所に exe ファイルを保存します。



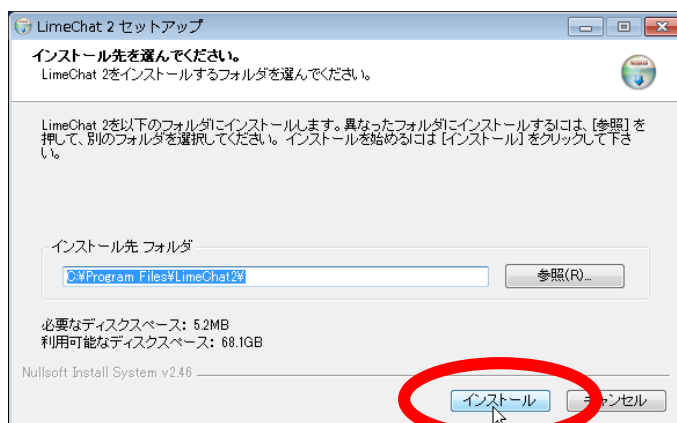
- ③ 保存した exe ファイルをダブルクリックしてインストーラを起動します。



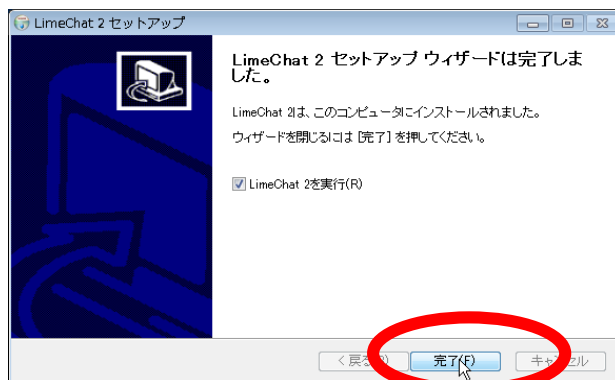
※ 下のような確認画面が出た場合、「実行」ボタンを押して下さい。



- ④ インストール先を指定する画面が出てきますが、特に事情がない限りそのまま「インストール」ボタンを押して下さい。

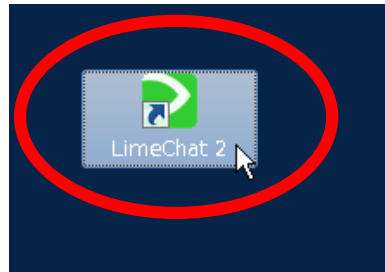


- ⑤ 下の画面が出たら、「完了」ボタンをクリックして、インストールを完了します。



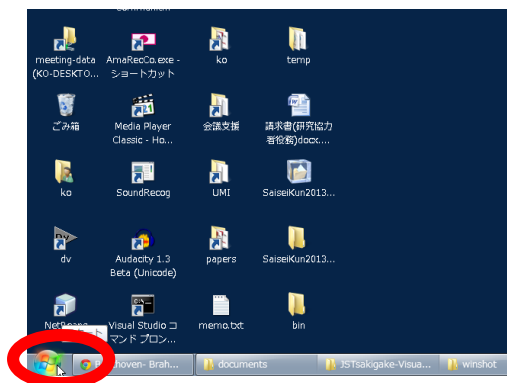
3. 「LimeChat」の起動

- ① デスクトップ画面の「LimeChat 2」というアイコンをダブルクリックして、「LimeChat」を起動します。

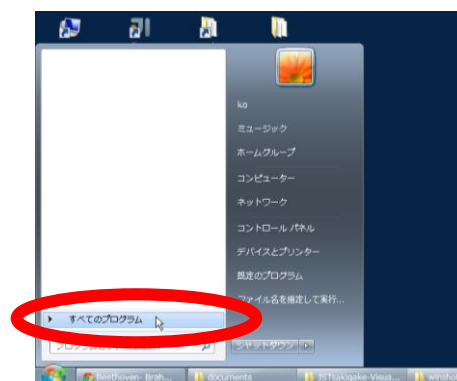


※ アイコンが無い場合は、スタートメニューから探して起動します。

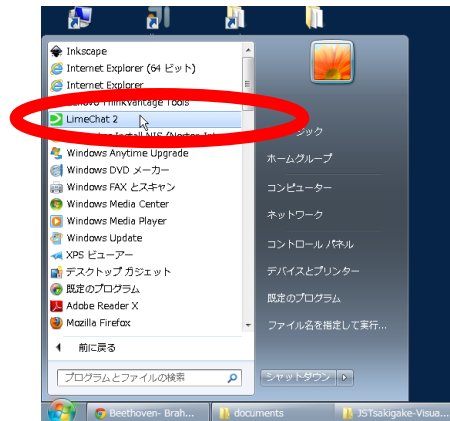
- (1) 画面左下のスタートボタン（マーク）をクリックします。



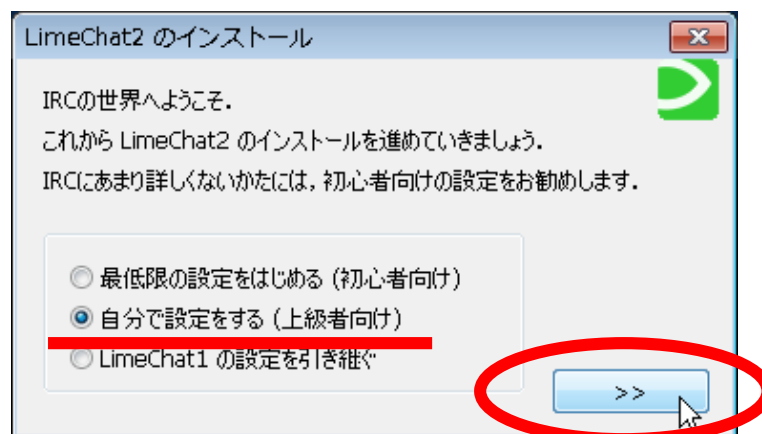
- (2) 表示されるメニューから、「すべてのプログラム」を選択します。



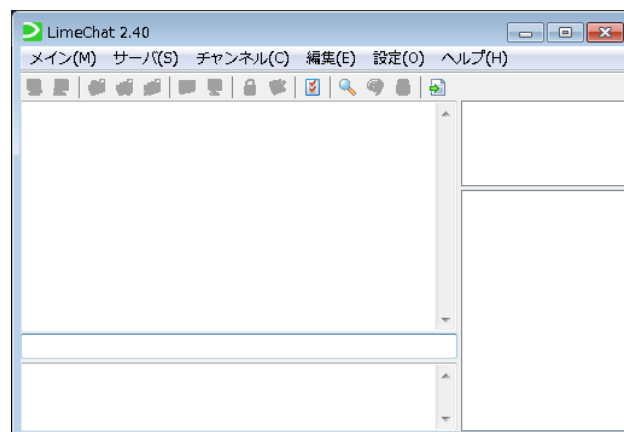
(3) 開かれたリストから、「LimeChat 2」をクリックします。



② 「LimeChat」を初めて起動する時は、次のような画面が表示されることがあります（表示されなければ、そのまま③へ進んで下さい）。「自分で設定をする（上級者向け）」を選択して「>>」をクリックします。



③ 「LimeChat」のメイン画面が表示されます。



4. 接続設定

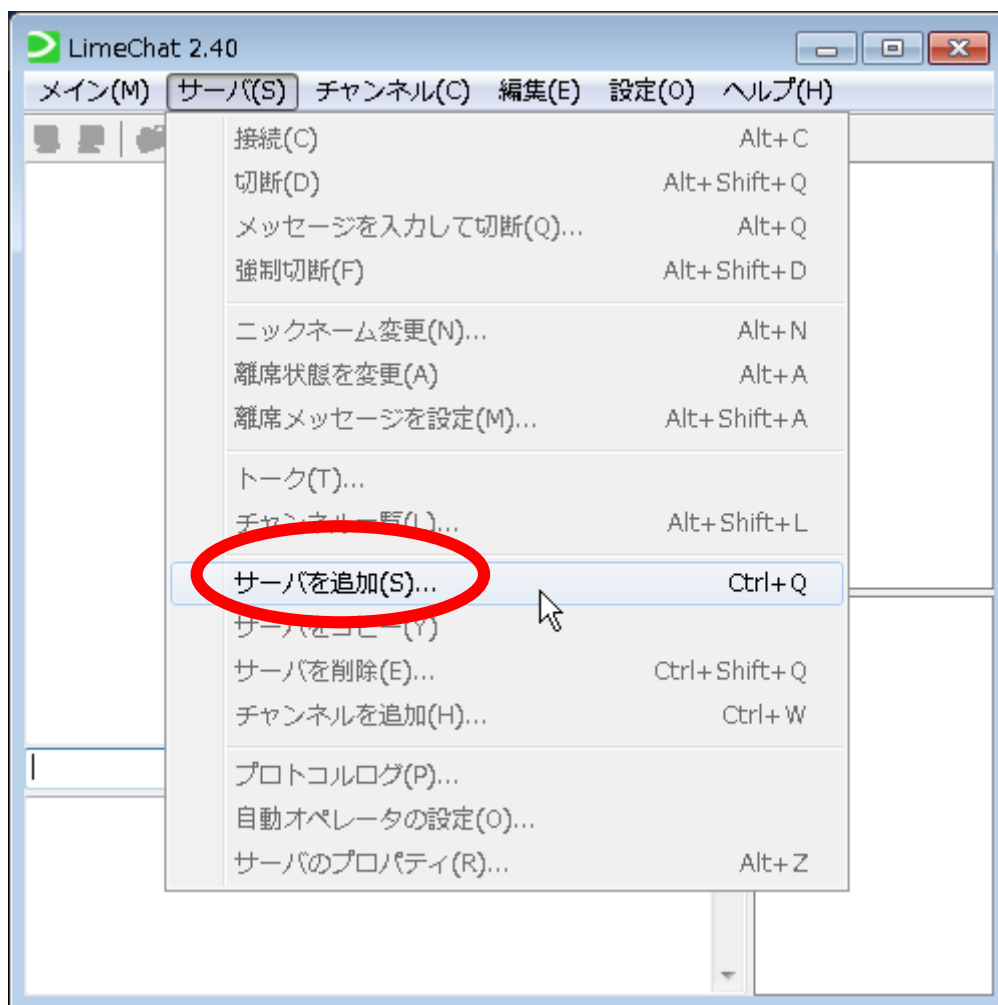
IRC チャットは、IRC サーバに接続し、チャンネルに入ることによって利用できます。ここでの設定に先立って、接続するサーバのアドレスと、使用するチャンネルの名前を事前に決めておく必要があります。サーバについては、特にこだわりが無ければ初めはインターネット上で公開されている「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」を試してみてもよいでしょう。チャンネルは好きな名前のもので構いませんが、必ず「#」（半角シャープ）から始めなければなりません。チャットに参加する人同士で相談して決めておいてください。以下では、

- サーバ：「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」
- チャンネル：「#testchannel」

という設定で利用する例をご紹介します。

4-1. IRC サーバへの接続設定

- ① メニューで「サーバ」→「サーバを追加(S)...」をクリックします。



- ② 「サーバを追加」画面の「接続」タブ上の各項目を埋めます。
- ・ 「設定名」: 分かりやすいようにお好みの名前を付けて下さい（ここでは「ircnet」）。
 - ・ 「ホスト名」: 接続したい IRC サーバのアドレスを入力します。どのサーバに接続すればよいかはこの節の冒頭で述べた通り、事前に相談して決めておいて下さい（ここでは「irc.ircnet.ne.jp(IRCnet)」）。
 - ・ 「ポート番号」: 基本的には「6667」を指定することが多いですが、接続する IRC サーバによって異なる場合があります。サーバを決める時に併せて確認しておいて下さい。
 - ・ 「ニックネーム」・「ログイン名」・「名前」: チャットに参加する時の名前を決めて下さい。ここで設定した名前が、チャット中に他の参加者に見える名前になります。3つの欄とも同じ名前で構いません。

設定が済んだら「OK」ボタンを押して完了します。

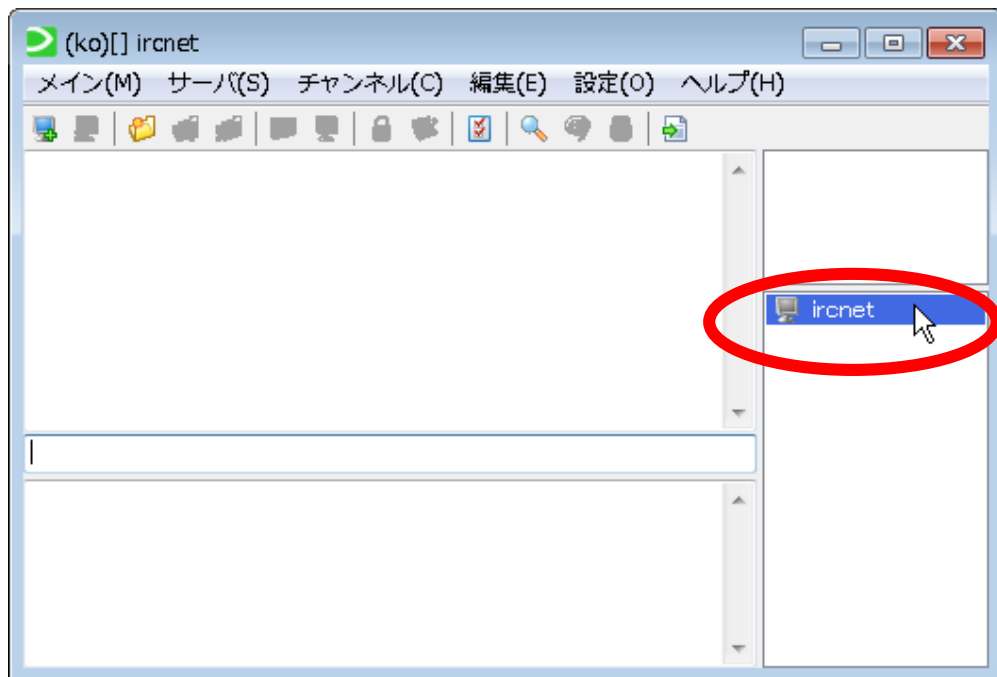
The screenshot shows the 'サーバを追加' (Add Server) dialog box. The '接続' (Connection) tab is active. The following fields are highlighted with a red circle:

- 設定名(T): ircnet
- ホスト名(H): irc.ircnet.ne.jp (IRCnet)
- ポート番号(P): 6667
- ニックネーム(N): ko
- ログイン名(L): ko
- 名前(R): ko

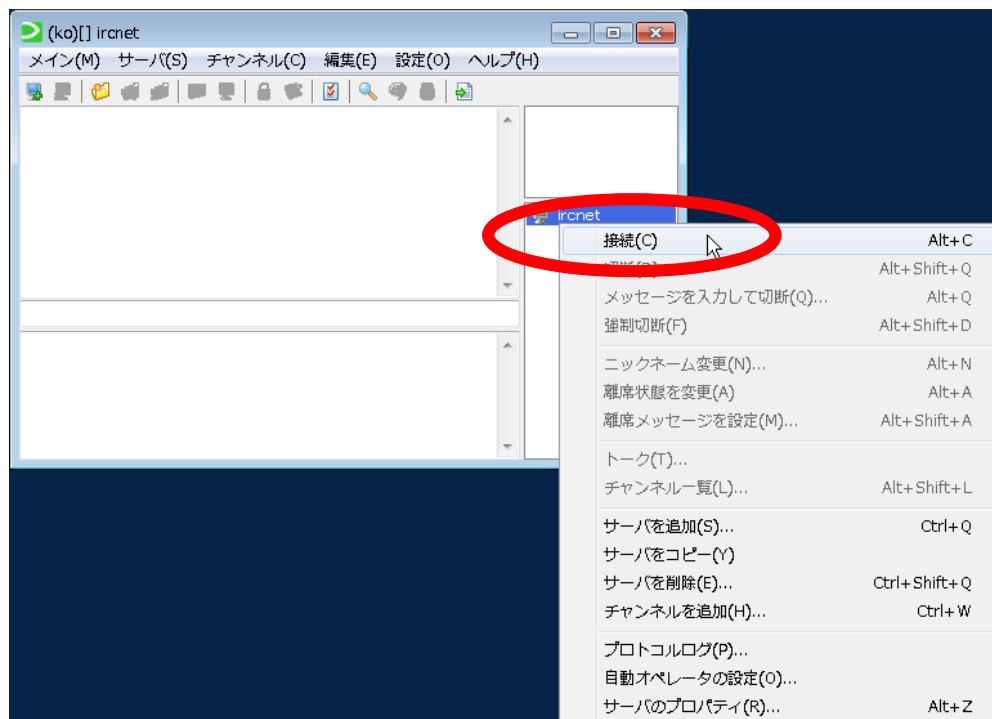
Other visible fields and buttons include:

- ☐ SSL接続(S)
- 代替サーバの設定(A)
- ☐ サーバパスワードを使う(W):
- 代替ニックネーム(I): (スペース区切り)
- 文字コード(E): ISO-2022-JP (再接続後に有効)
- ☐ 起動時に接続する(C)
- OK button (circled in red)
- キャンセル button

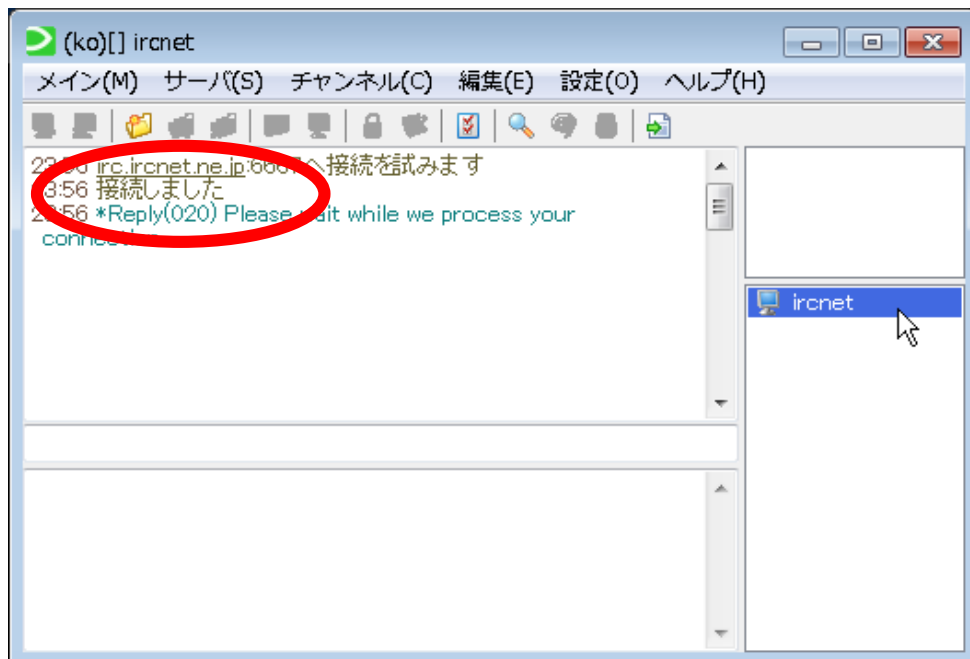
- ③ 画面右下に上の②で設定した設定名で IRC サーバが追加されています。



- ④ 設定したサーバを右クリックして、表示されるメニューから「接続」をクリックします。

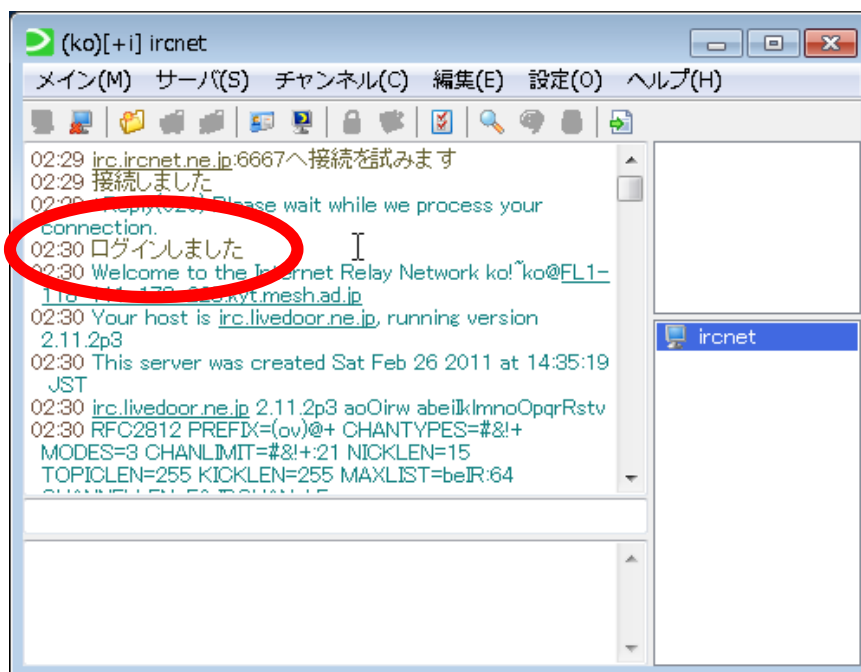


- ⑤ 左側の画面に「接続しました」と表示されれば接続成功です。



※ ネットワークの状況やサーバ毎の特徴により、設定が正しくても何度か失敗する場合があります。3～4 回接続を試みても失敗する場合は、設定が間違っていないか確認してください。

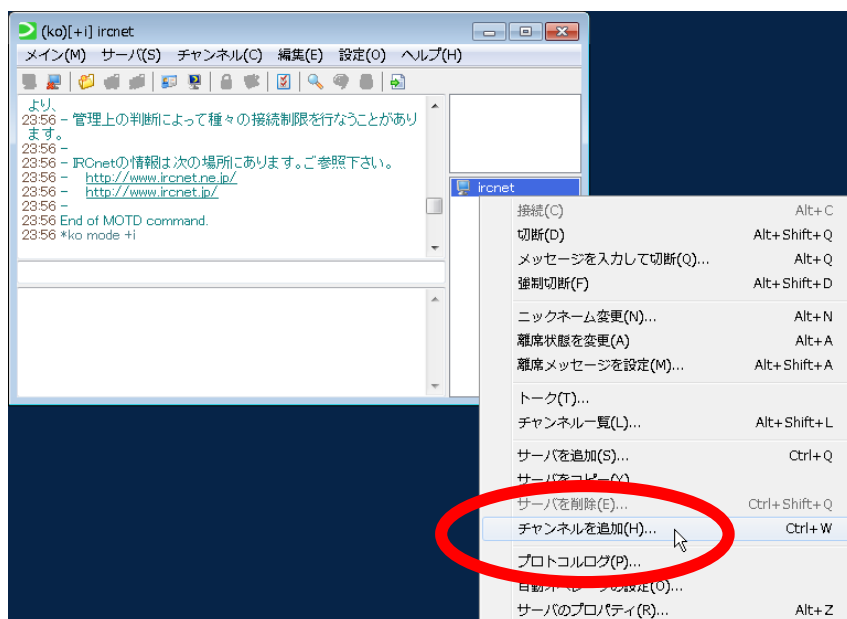
- ⑥ 接続後、ログインして操作可能になるまで1～2 分かかる場合があります。「ログインしました」と表示されればログイン成功です。



4-2. チャンネルを追加する

※ ここでの設定に先立って、IRC サーバ上のどのような名前のチャンネルを使って（作って）チャットを行うか事前に決めておく必要があります。チャンネルの名前は必ず「#」（半角シャープ）から始めなければなりません。チャットに参加する人同士で相談して決めておいて下さい。

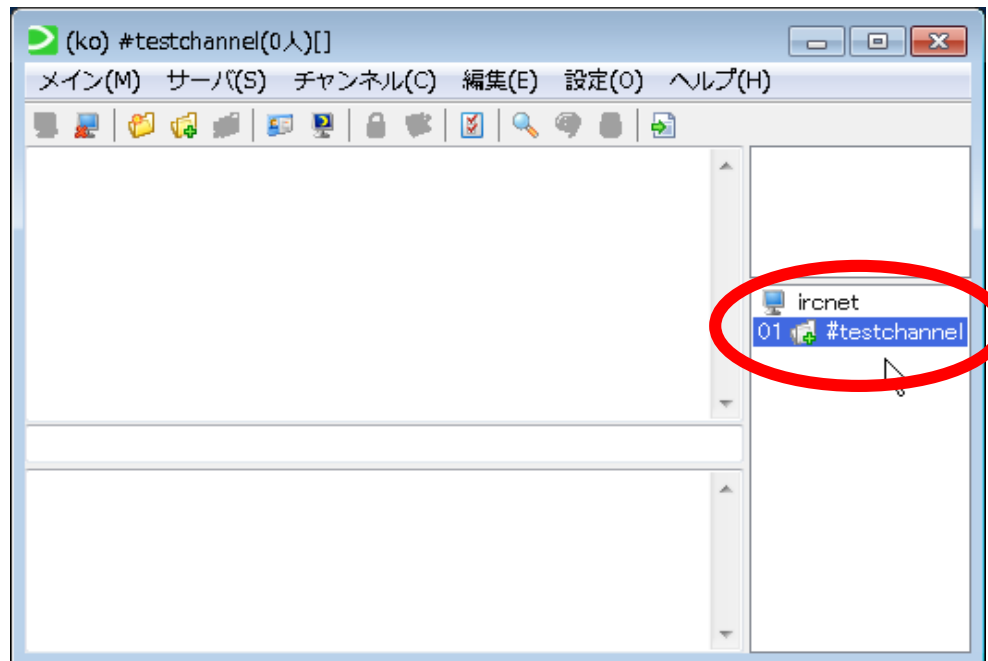
- ① IRC サーバに接続した状態で、画面右下のサーバを右クリックし、表示されるメニューから「チャンネルを追加」をクリックします。



- ② 「チャンネルを追加」画面の「チャンネル名」の欄に、この節の冒頭で述べた通り相談して決めておいた「チャンネル名」を入力します（ここでは「#testchannel」）。入力が済んだら「OK」ボタンをクリックして完了します。

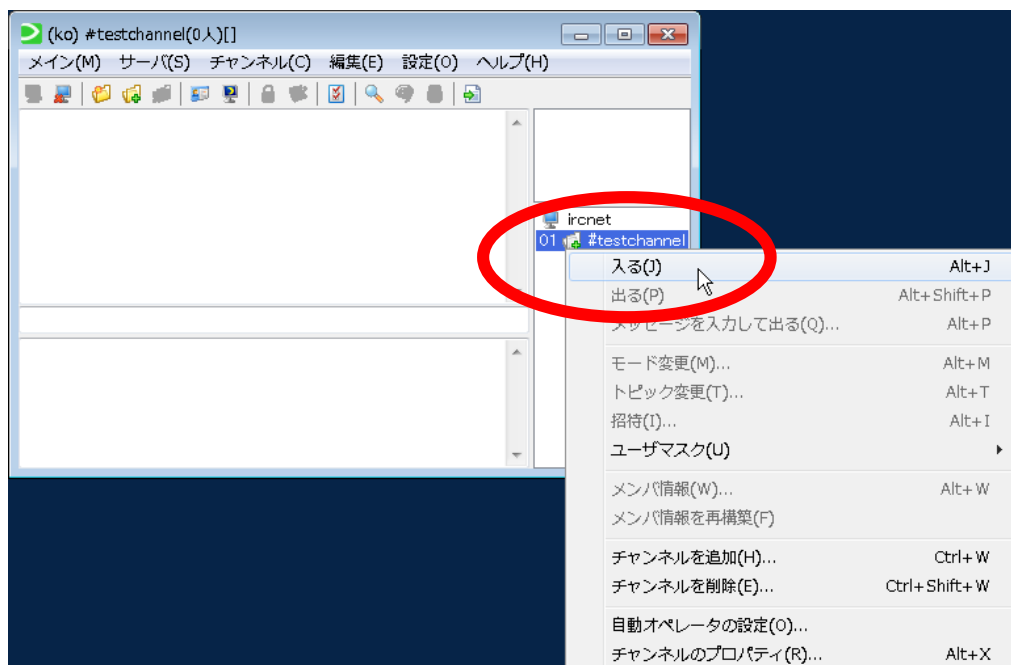


- ③ 画面右下、サーバにぶら下がる形で、追加したチャンネルが表示されます。

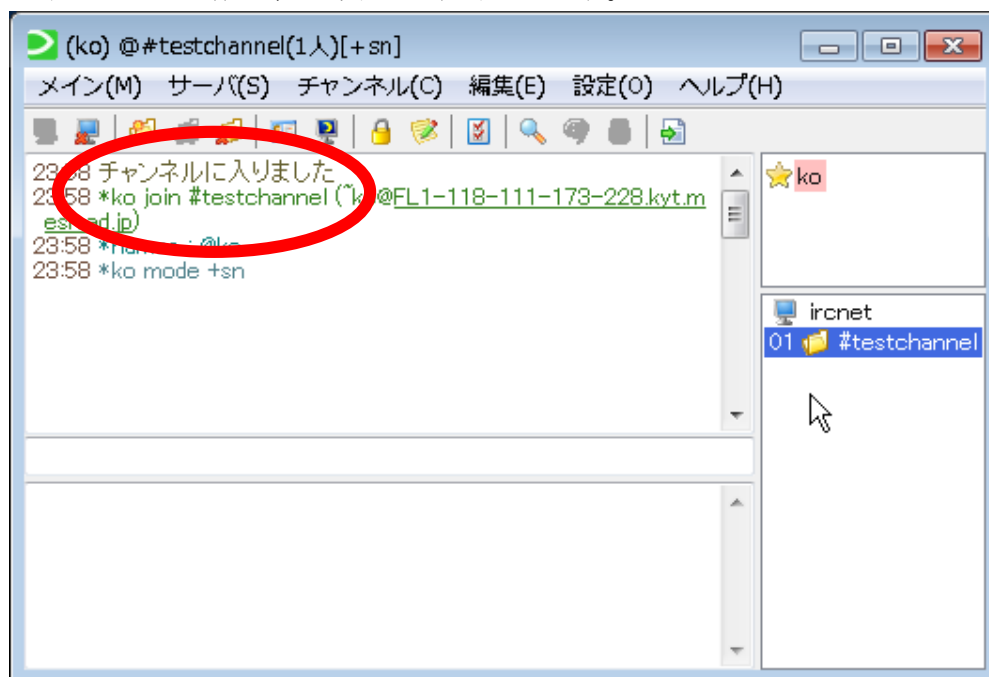


4-3. チャットを開始する（チャンネルに入る）

- ① チャットに使用するサーバに接続した状態で、画面右下の使用するチャンネル名を右クリックし、表示されるメニューから「入る」をクリックします。

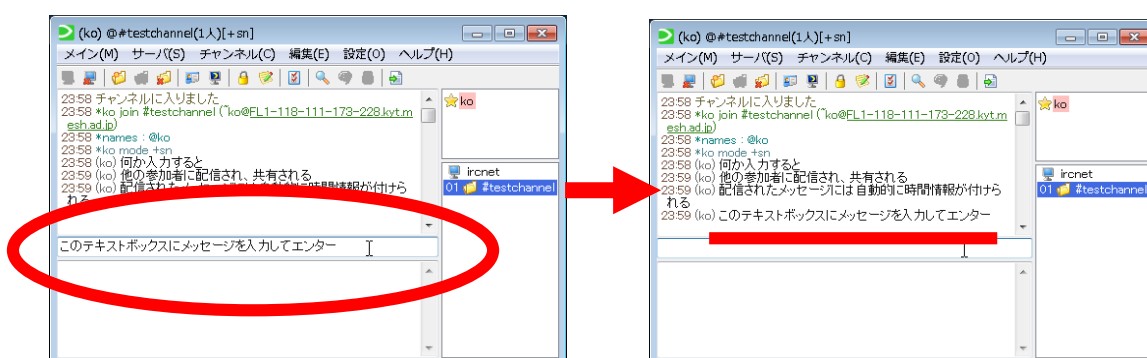


- ② チャンネルのアイコンが黄色くなり、画面左側に「チャンネルに入りました」と表示されれば成功、チャットが開始されます。



- ③ 画面左下部のテキストボックスにメッセージを入力して「Enter」キーを押すと、メッセージが送信され、同じチャンネルに入っている他の参加者に配信されます。

※ 入力するメッセージには、「,」（半角カンマ）を使わないようにして下さい。
これは後の 6. で説明するように、チャットのログを Excel で読み込める形式に変換しやすくするためです。

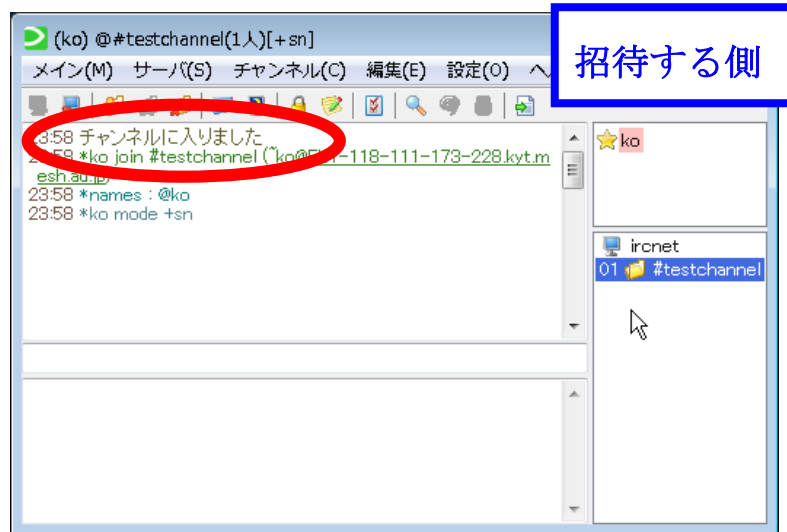


※ 他のユーザをチャンネルに「招待」する方法

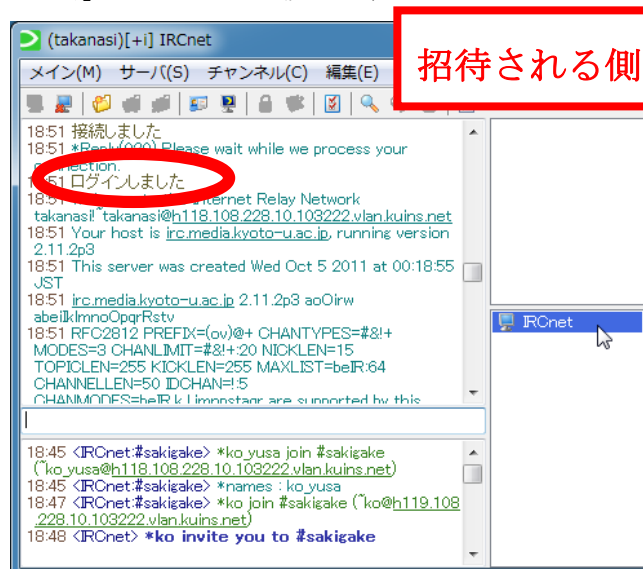
上の4-2. と4-3. は、「招待」という方法で簡略化することもできます。つまり、先にチャンネルに入っているユーザが、まだ入っていないユーザを「招待する」ことにより、招待されたユーザは4-2. と4-3. を行うことなくチャンネルに入ることができます（4-1. までは省略できず、設定を済ませておく必要があります）。

以下では「招待する側」と「招待される側」の操作の違いにご注意下さい。

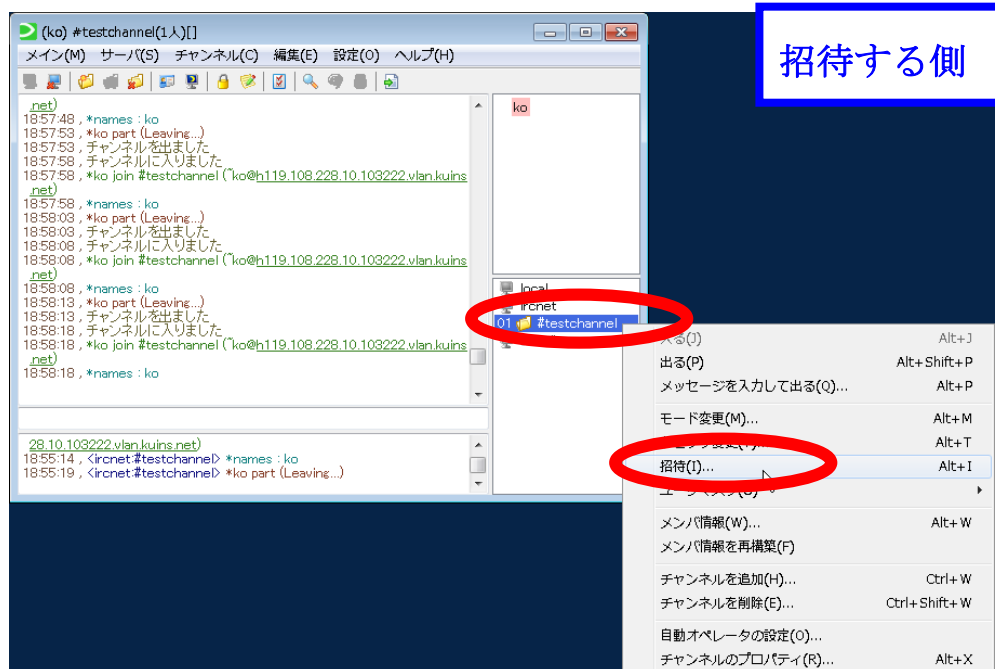
- (1) 【招待する側】4-3. までの設定に従いチャンネルに入っておきます。



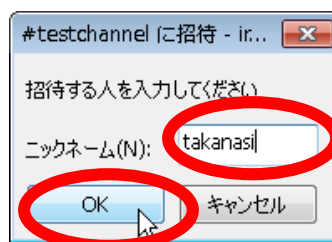
- (2) 【招待される側】4-1. までの設定に従いサーバにログインしておきます。



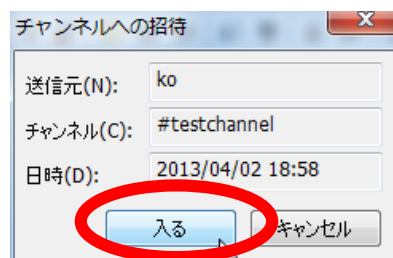
- (3) 【招待する側】チャンネル名を右クリックし、表示されるメニューから「招待」をクリックします。



- (4) 【招待する側】「〇〇に招待」(〇〇はチャンネル名、ここでは「#testchannel」)画面で、ニックネーム欄に招待したいユーザのニックネーム(招待される側のユーザが4-1. の②で設定したニックネーム、ここでは「takanasi」)を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

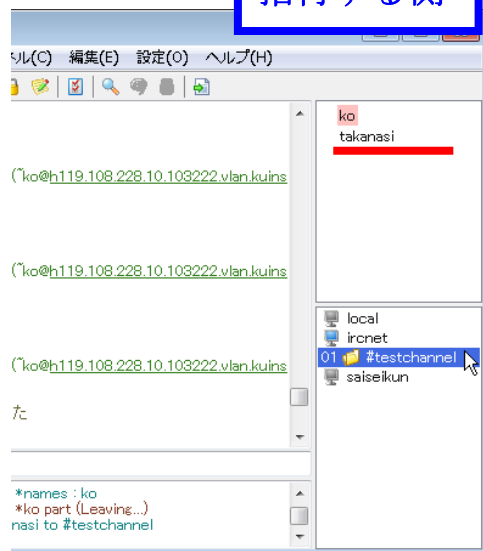


- (5) 【招待される側】自動的に「チャンネルへの招待」画面が表示されるので、「入る」ボタンをクリックします。

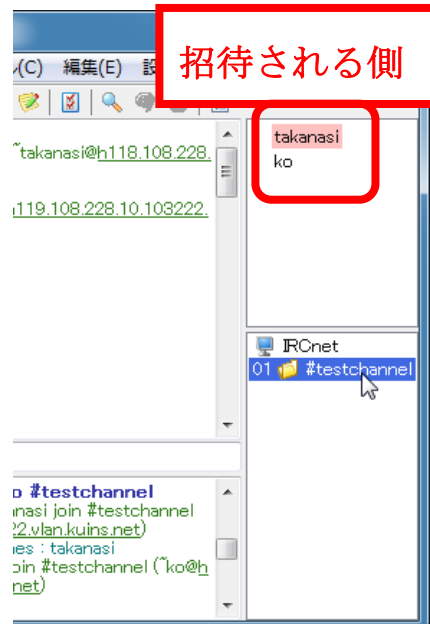


(6) 【共通】 招待されたユーザがチャンネルに入れたら成功です。

招待する側



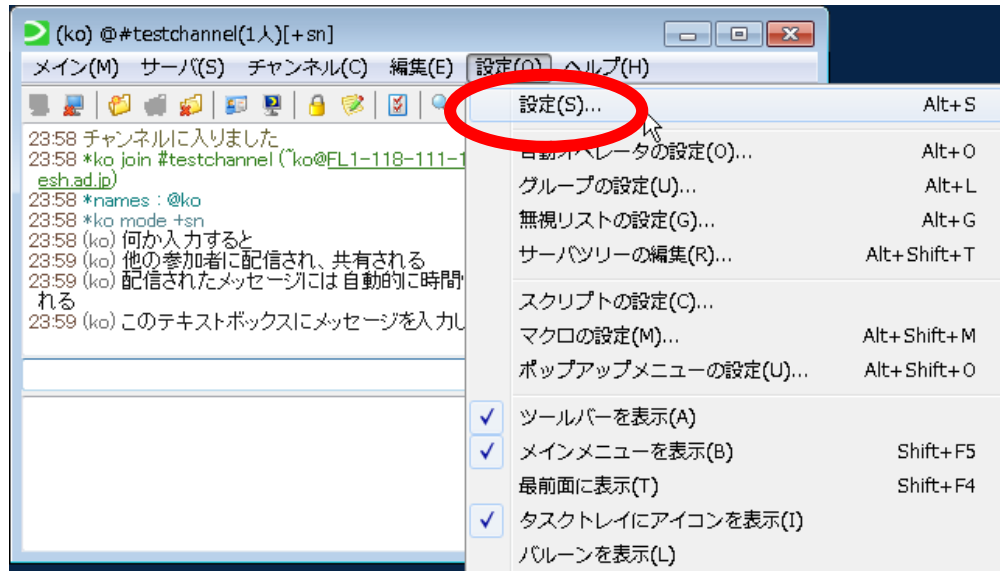
招待される側



5. チャットのログをファイルに保存する

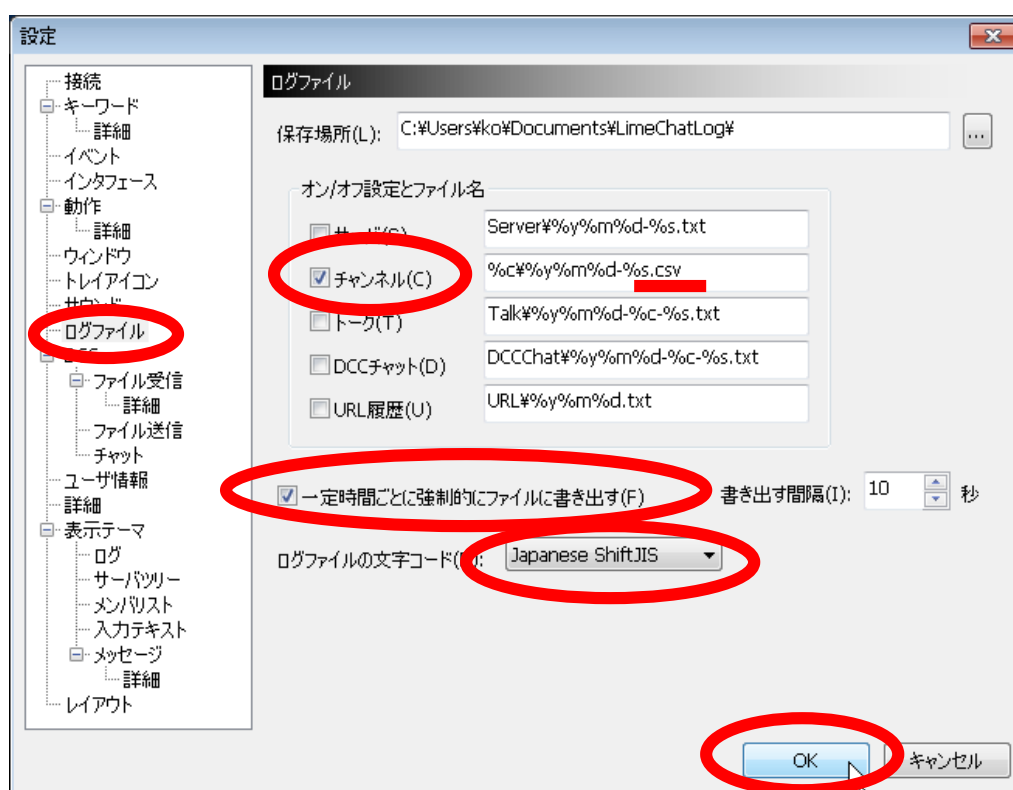
「LimeChat」ではチャットのログをテキストファイルに保存することができます。
ログを「再生くん」で利用しやすい書式で出力するための設定を行います。

- ① メニューの「設定」→「設定(S)...」をクリックします。



② 「設定」画面左側のリストから「ログファイル」をクリックし、「ログファイル」設定ページの各項目を設定します。

- ・ 「保存場所」：ログファイルを保存する場所を設定します。
- ・ 「オン/オフ設定とファイル名」：少なくとも「チャンネル」にはチェック。
- ・ 「チャンネル」のファイル名：末尾の「.txt」を「.csv」に書き換え。
- ・ 「一定時間ごとに強制的にファイルに書き出す」：必ずチェック。
- ・ 「書き出す間隔」：なるべく短い秒数を指定します（10 秒程度）。
- ・ 「ログファイルの文字コード」：Excel で読み込みやすくするため、「Japanese ShiftJIS」を選択します。

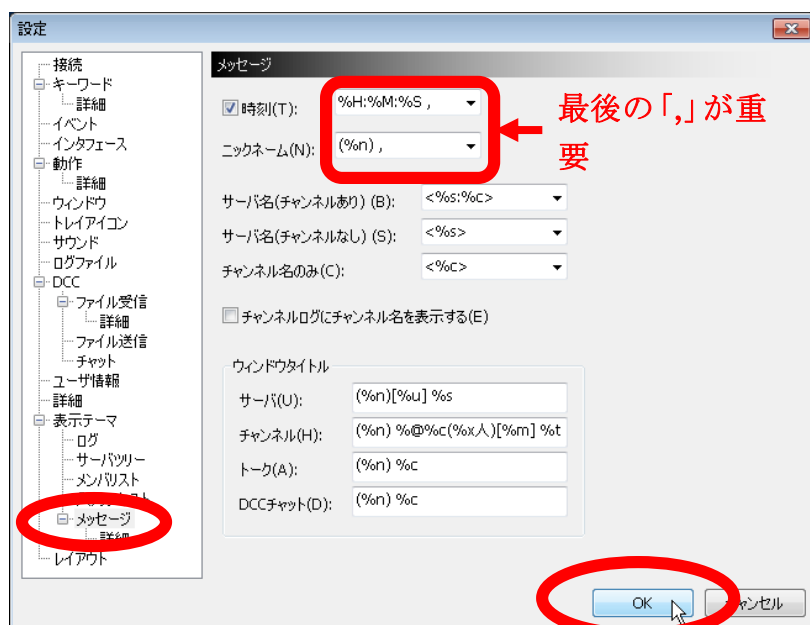


- ③ 続いて「設定」画面左側のリストから「メッセージ」をクリック、「メッセージ」設定ページを開きます。

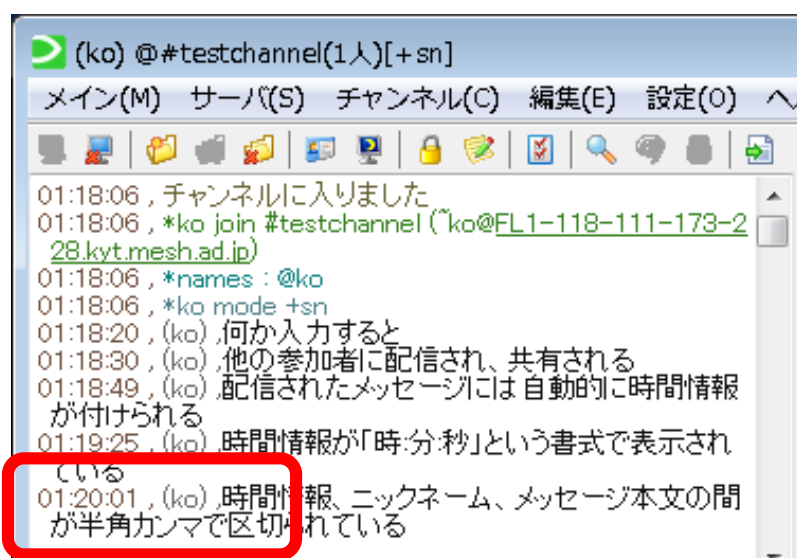
「時刻」にチェックし、「%H:%M:%S,」と記入します（最後の半角カンマを忘れないようご注意ください）。

また、「ニックネーム」欄の末尾にも「,」（半角カンマ）を追加します。

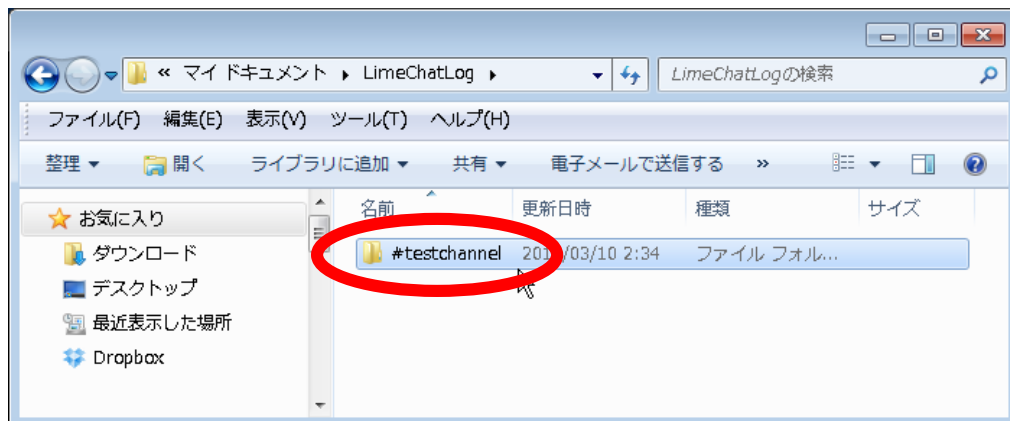
記入できたら、「OK」ボタンで完了します。



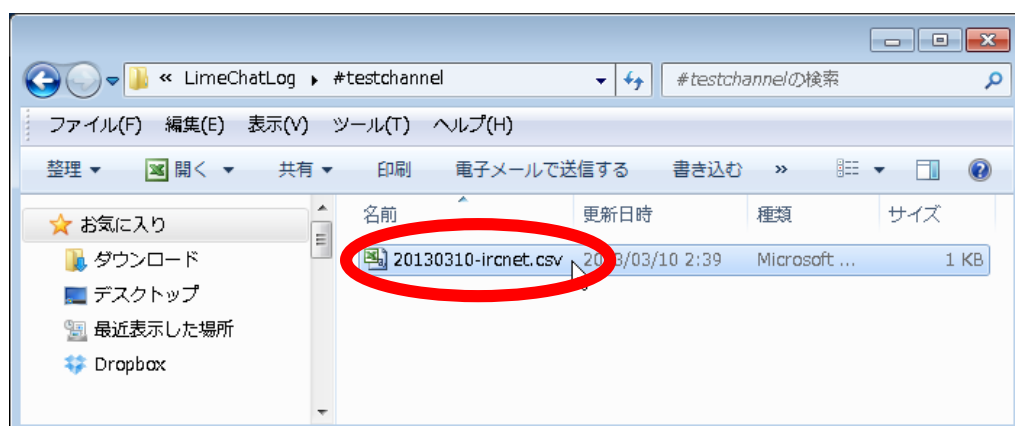
- ④ 画面左側のメッセージで、時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されていて（例えば 01:20:01）、時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間がそれぞれ「,」（半角カンマ）で区切られていることを確認して下さい。



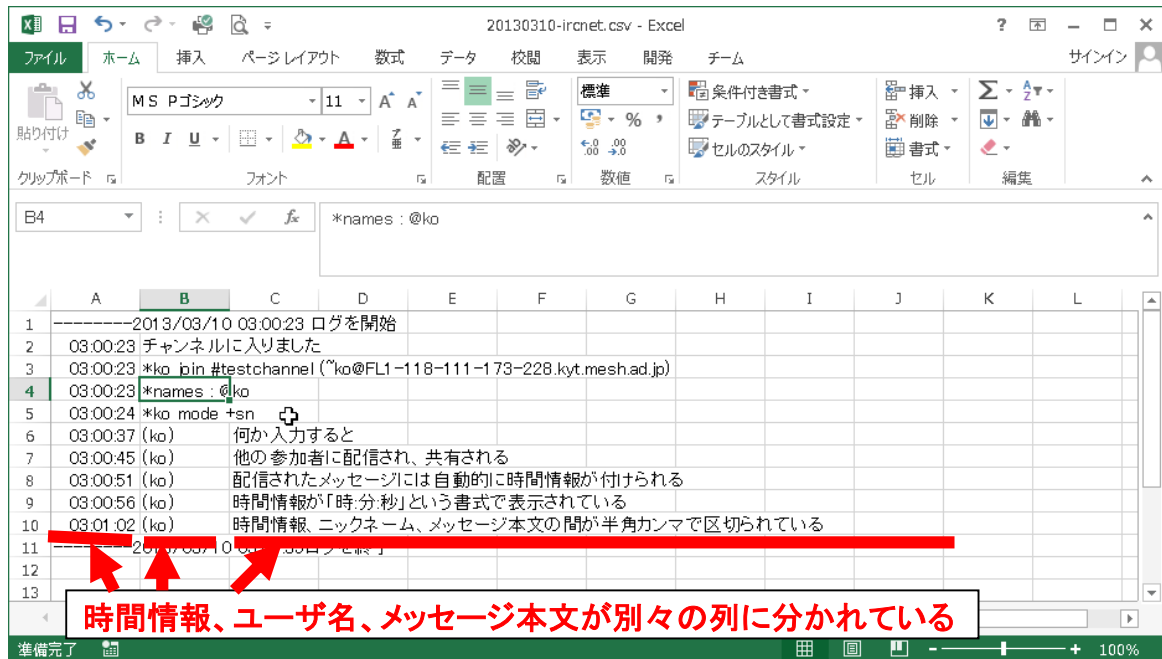
- ⑤ 出力されたログファイルを確認するには、エクスプローラで、上の②で設定したログの保存場所を開きます。チャンネル名のフォルダをダブルクリックして開きます。



- ⑥ チャットを行った年月日に対応するファイルが該当するログファイルです。上の②の設定により、CSV ファイルとして保存されています。ダブルクリックすると、Excel が起動して、ファイルが開かれます。



- ⑦ Excel でファイルが開かれ、時間情報、ユーザ名、メッセージ本文がそれぞれ別々の列に分かれていればログファイルの保存は成功です。



6. 時刻情報をビデオ内の時間情報に変換する

チャットで自動的に付与される時間情報は、メッセージが入力された「時刻」の情報なので、これをビデオファイルの冒頭からの「時間」の情報に変換する必要があります。ここではその手順を紹介します。

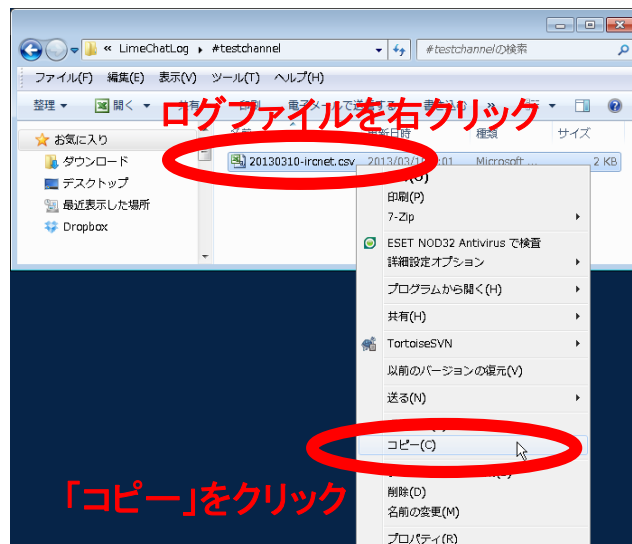
※ より正確に言うと、付与される時刻情報はメッセージを PC に受信した時刻です。そのため正しい時刻を記録するためには、ご使用の PC (特にメッセージの集約とログの保存を行う PC) の時計が正確である必要があります (1. 参照)。

6-1. 作業の概要

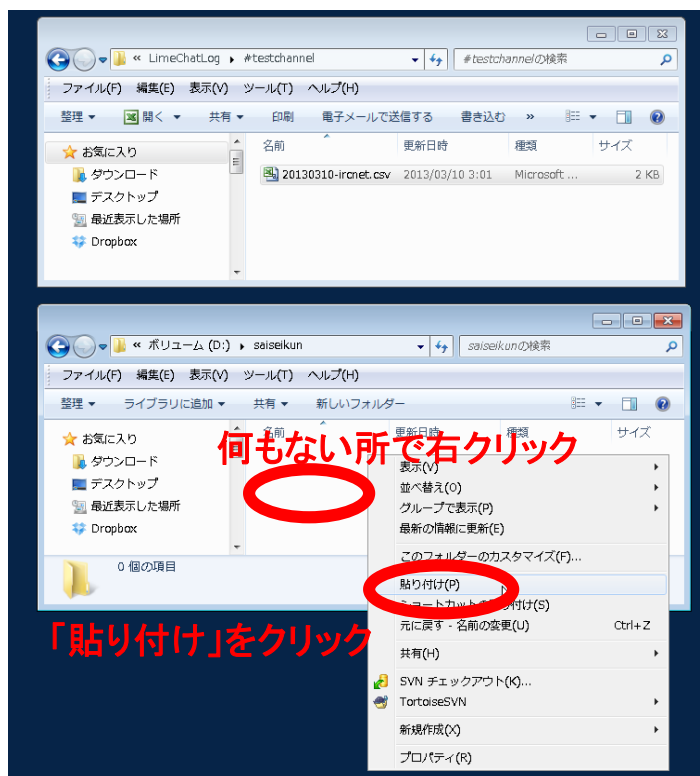
- (1) 5. で保存した「LimeChat」のログファイルを適当な場所にコピーする。
- (2) コピーしたファイルを Excel で開く。
- (3) 開いたファイルの A 列と B 列の間に空列を挿入する。
- (4) 新たに挿入された B 列の各行に「A 列ー”ビデオの撮影開始時刻”」を計算する数式を記入する。ビデオの撮影開始時刻は「時:分:秒」の書式とする。2 行目のセルに記入してから必要な行にコピーすると簡単 (1 行目は後でビデオファイルのパスを記入するために空けておく)。

6-2. 詳細な手順

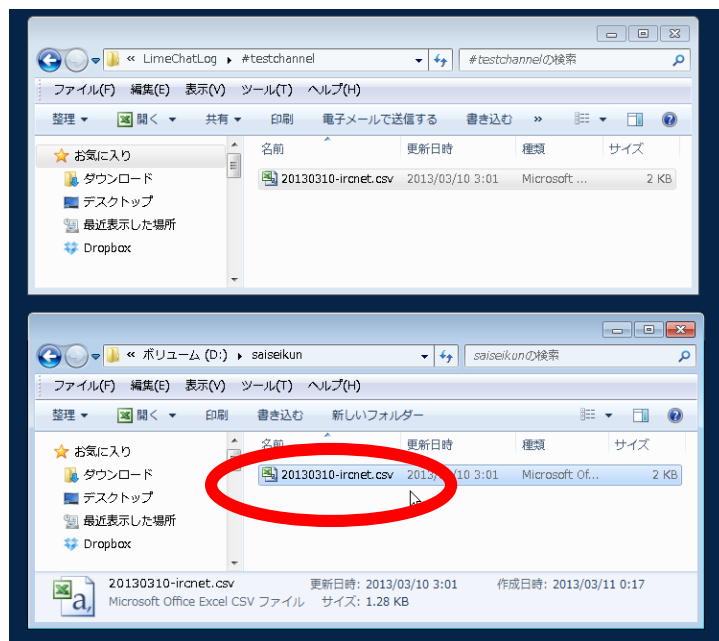
- ① 前節 5. の方法で保存した「LimeChat」のログファイルを右クリックし、表示されるメニューから「コピー」を選択します。



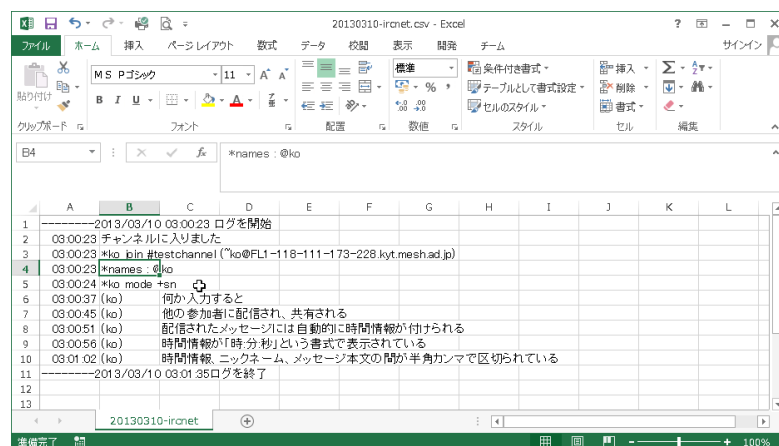
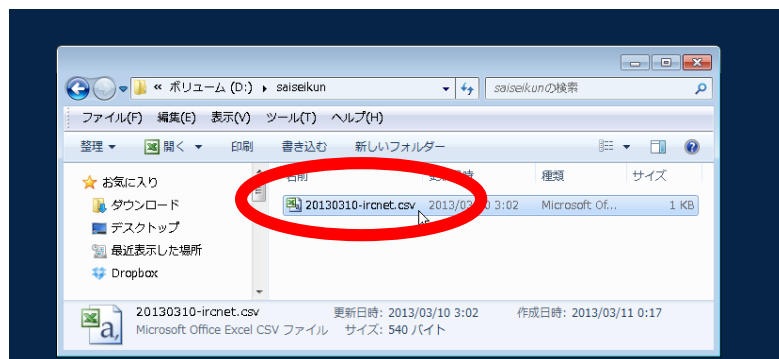
- ② 適当なコピー先フォルダを開いて、アイコンなどが何もないスペースを右クリックし、表示されるメニューから「貼り付け」を選択します。



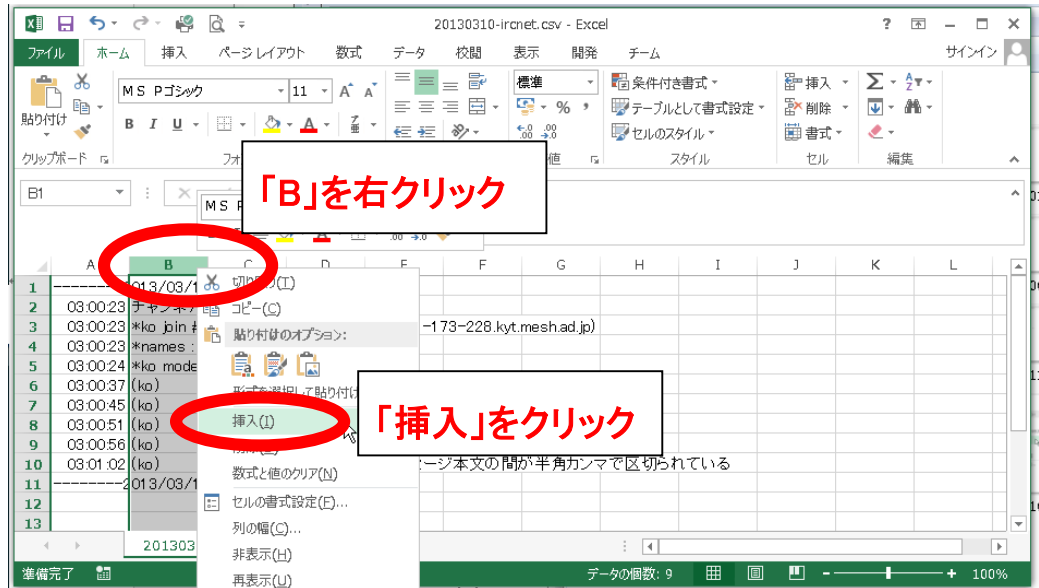
- ③ ログファイルのコピーが完了します。



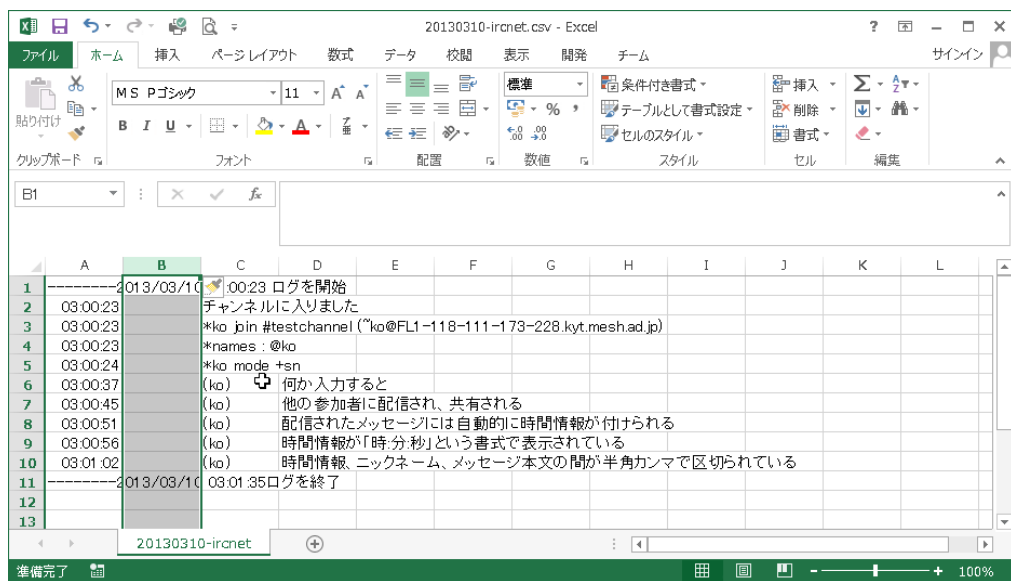
- ④ コピーしたログファイルをダブルクリックすると、Excel が起動してファイルが開かれます。



- ⑤ B列一番上の列名「B」を右クリックし、「挿入」をクリックします。



- ⑥ 空列が挿入されます。



- ⑦ 新たに挿入された B 列で、A 列の時刻からビデオの撮影開始時刻を引き算した値を計算します。B 列 2 行目のセルに「=A2-」(撮影開始時刻)」という数式を記入します。(撮影開始時刻)の部分には、ビデオの撮影開始時刻を(なるべく正確に秒単位で)記入します。記入する書式は「時:分:秒」で、「」(半角ダブルクォーテーション)で囲むのを忘れないでください。SONY の Handycam などの場合、ビデオのファイル名が撮影日時になっていることがあるので参考にすると便利です。

B2		:	X	✓	f_x	=A2-"2:55:20"				
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	-----2013/03/10 03:00:23 ログを開始									
2	03:00:23	=A2-"2:55:20"	こ入りました							
3	03:00:23		*ko join #testchannel ("ko@FL1-118-111-173-228.kyt.mesh.ad.jp)							
4	03:00:23		*names : @ko							
5	03:00:24		*ko mode +sn							
6	03:00:37		(ko)	何か入力すると						
7	03:00:45		(ko)	他の参加者に配信され、共有される						
8	03:00:51		(ko)	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる						
9	03:00:56		(ko)	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている						
10	03:01:02		(ko)	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている						
11	-----2013/03/10 03:01:35ログを終了									
12										

- ⑧ 「Enter」キーを押すと計算結果が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	-----2013/03/10 03:00:23		ログを開始								
2	03:00:23	00:05:03	チャンネルに入りました								
3	03:00:23		*ko join #testchannel ("ko@FL1-118-111-173-228.kyt.mesh.ad.jp)								
4	03:00:23		*names : @ko								
5	03:00:24		*ko mode +sn								
6	03:00:37		(ko)	何か入力すると							
7	03:00:45		(ko)	他の参加者に配信され、共有される							
8	03:00:51		(ko)	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる							
9	03:00:56		(ko)	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている							
10	03:01:02		(ko)	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている							
11	-----2013/03/10 03:01:35		ログを終了								
12											
13											

- ⑨ B 列の他の行でも同様の計算を行います。まず B 列 2 行目のセルを 1 度クリックし、選択状態にします。次にセルの右下にカーソルを合わせると「+」マークに変わります。その位置でマウスの左ボタンを押し、そのまま押しっぱなしにします。

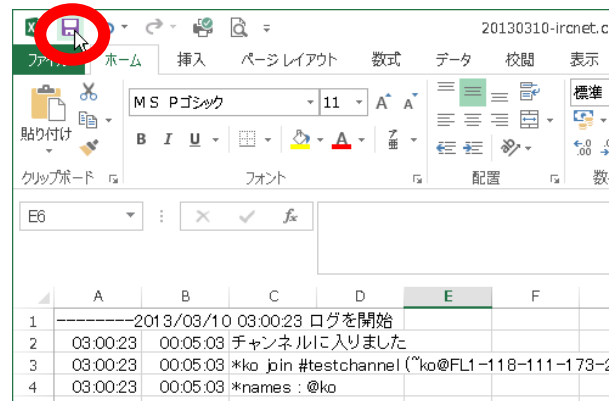
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	-----2013/03/10 03:00:23		ログを開始							
2	03:00:23	00:05:03	チャンネルに入りました							
3	03:00:23		*ko join #testchannel ("ko@FL1-118-111-173-228.kyt.mesh.ad.jp)							
4	03:00:23		*names : @ko							
5	03:00:24		*ko mode +sn							
6	03:00:37		(ko)	何か入力すると						
7	03:00:45		(ko)	他の参加者に配信され、共有される						
8	03:00:51		(ko)	配信されたメッセージには自動的に時間情報が付けられる						
9	03:00:56		(ko)	時間情報が「時:分:秒」という書式で表示されている						
10	03:01:02		(ko)	時間情報、ニックネーム、メッセージ本文の間が半角カンマで区切られている						
11	-----2013/03/10 03:01:35		ログを終了							
12										

- ⑩ マウスの左ボタンを押したまま、コピーしたい範囲までドラッグし、離すと数式がコピーされ、B列の各行にA列の時刻からビデオの撮影開始時刻を引き算した計算結果が表示されます。

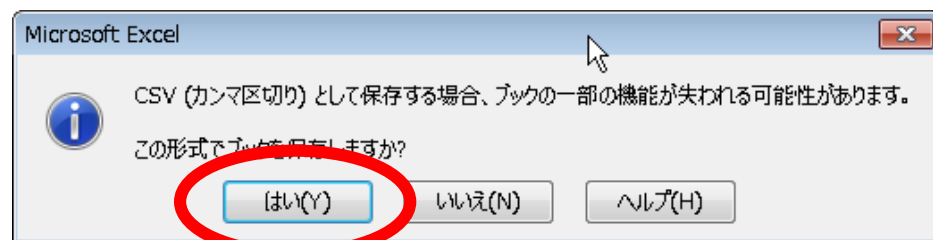
	A	B	C
1	-----2013/03/10 03:00:23		
2	03:00:23	00:05:03	チャンネル
3	03:00:23		*ko join
4	03:00:23		*names
5	03:00:24		*ko mo
6	03:00:37		(ko)
7	03:00:45		(ko)
8	03:00:51		(ko)
9	03:00:56		(ko)
10	03:01:02		(ko)
11	-----2013/03/10 03:01:02		
12			

	A	B	C
1	-----2013/03/10 03:00:23		
2	03:00:23	00:05:03	チャンネル
3	03:00:23	00:05:03	*ko join
4	03:00:23	00:05:03	*names
5	03:00:24	00:05:04	*ko mode
6	03:00:37	00:05:17	(ko)
7	03:00:45	00:05:25	(ko)
8	03:00:51	00:05:31	(ko)
9	03:00:56	00:05:36	(ko)
10	03:01:02	00:05:42	(ko)
11	-----2013/03/10 03:01:02		:01:35
12			

- ⑪ 「上書き保存」ボタンをクリックします。



- ⑫ 確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



7. Excel ファイルを作る時の工夫・コツ

このマニュアルで紹介したような、IRC チャットのログをビデオ再生のインデックスに利用するという使い方は、「再生くん」の「時間情報と何らかの文字情報をセットにして記述されてさえいれば、記述する内容は何でも構わない」という特徴を活かしたものと言えます。

ただし、チャットのようにユーザが気づいたことをリアルタイムに記録していく場合、気づきから記録までにはタイムラグが発生するため、出来上がったインデックスからビデオを再生するときには、実際の現象が起きている場面より少し後の位置から再生されてしまいます。このような場合には Excel ファイルを編集して時間情報を数秒ずつ手前の時間に修正しておく方法も考えられますが、「再生くん」の「□秒手前から再生」機能を利用するとより便利です。この機能によって正確な位置から再生できるようになるわけではありませんが、少し前から再生して所望の場面が来るのを待てばよいことになり、閲覧時の負担がかなり軽減されます。さらに、所望の場面を見つけた後は、時間情報を正確な時間に書き直しておけば、以降はより正確な位置からの再生が可能になります。

「LimeChat」を用いてリアルタイムでインデックスを作成し、「再生くん」で利用できる形式に変換する方法の説明は以上です。「再生くん」を起動してビデオファイルを再生する方法については、「再生くん」マニュアル本編をご覧ください。